

平成27年度 春日井市地域自立支援協議会部会・連絡会の取り組み

	目的	平成27年度の具体的取組み
すまいの部会	障がい者の地域での暮らしを制度の枠だけにとらわれず、地域社会全体で支援できる体制づくりを目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな住まい方についての事例などを情報収集する。 ・福祉分野以外の関係者と共に支援体制を検討する。
はたらく部会	障がい者の「はたらく」ことに対して幅広く捉え、さまざまな課題を分析しながら、多様な就労の場を考えていく。また、第3次春日井市障がい者総合福祉計画で設定された成果目標に対し、市全体で取り組みを考えていく	<ul style="list-style-type: none"> ■一般就労への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク、障がい者就業・生活支援センターとの連携強化による就労支援、事業主への障害者雇用啓発を行う ・就労移行支援事業の利用者数、就労移行率の分析を行う ・福祉施設から一般就労した者の数の分析を行う ■福祉的就労への取組み <ul style="list-style-type: none"> ・離職者への支援、コーディネート の取組みを検討する ・障がい者就労支援施設等からの物品等の優先調達を検討する ・就労継続支援B型の平均工賃向上について取り組む
子ども部会	障がいの程度・内容にあった教育・療育の機会をを図るとともに、サポートブックの活用について検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・日中の所属先（保育園、幼稚園、小学校、中学校等）での子どもの状況について現状把握を行う ・児童発達支援事業、放課後等デイサービスでの子どもの状況について現状把握を行う ・サポートブックの活用について現状把握を行う
相談支援連携部会	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹相談支援センター、障がい者生活支援センター、指定特定相談支援事業所が定期的に情報共有することにより、相談支援体制の連携の強化を図る ・日々の相談事例から地域の課題を抽出する 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援体制についてのガイドラインを作成する ・セルフプランの様式を見直す ・計画相談の作成率向上に向けた方法を検討する ・計画相談の周知方法について検討する ・必要に応じて研修会や事例検討を行う
相談支援事業所連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・市、基幹相談支援センター、障がい者生活支援センターの連携及び情報の共有を図る ・障がい者生活支援センター相互の連携及び情報の共有を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所間研修を行い、相談員のスキルアップを行う <p>【障がい理解啓発のための活動として】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム・メッセージの活動を行う ・メッセージ企画として、研修会や講座を開催する ・障がい理解啓発講演会を開催する
当事者団体連絡会	障がい者関係団体相互の連携及び情報の共有を図るとともに、当事者目線から課題を抽出し、当事者・家族の立場からできることに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者、家族向けに障がい者の自立した暮らしを考える「つどい」を実施する。 ・一般市民向けの啓発として、福祉のつどいなどで啓発活動を行う。
運営会議	部会及び連絡会の調整・進捗管理、また自立支援協議会の運営について協議する	<ul style="list-style-type: none"> ・部会及び連絡会からの活動及び地域課題の報告を受け、運営会議として地域課題を集約・整理し、方向性を示す ・障がい者総合福祉計画に基づき施策推進協議会と連携し、自立支援協議会の円滑な運営を図る ・地域拠点の整備に向け、障がい福祉サービス・地域生活支援サービスの資源調査に向けた検討を行う